**情報シート**

「高崎のぞむ」さんは26歳の男性です。現在は、父親と母親と一緒に自宅で生活しています。

のぞむさんには４歳上の姉がいます。姉は２年

前に結婚し、家を出ています。

　のぞむさんは、大柄で、身長が172センチ、

体重が105キロあります。体重については、10

年程前は60キロ少々でしたが、毎年コンスタン

トに増えてきています。最近は、高血圧気味で、

かかりつけの内科医からは、食事制限や運動を

するように指導されていますが、家庭で対応す

ることは難しくなってきています。

　生まれたばかりののぞむさんは、元気な赤

ん坊で、母親は姉よりも手のかからない子だと

思っていました。しかし、発語が遅く、１歳半

になっても大声で泣き続けるか、口をモグモグ

するだけで、言葉を発することはありませんで

した。小児科や保健師の紹介で、市内の療育訓

練や相談窓口に通い、３歳からは同じような障

害のある幼児たちが通う通園施設に毎日行くこ

とになりました。医師から、知的な発達の遅れ

と自閉症と診断されたのは４歳の時でした。

　簡単な単語を話すようになったのは、小学校

に通い始めた頃からです。学校は、当初、地域

の学校の特別支援学級に通っていましたが、ク

ラスメートと同じように学習ができなかったの

で、５年生からスクールバスを使って特別支援

学校に通うようになりました。当時を振り返る

と、道路工事現場や子どもの泣き声といった極

端に嫌いなこともありましたが、家族としては、

話す単語が限られること、他の子どもたちと一

緒に行事に参加することが難しいことなど、将

来に対して漠然とした不安を感じていたようで

す。

　生活が変わったのは、特別支援学校の中等

部の２年生からです。近所のコンビニで、親子

で買物に来ていた３歳位の子どもを突き飛ば



**高崎のぞむさんの生育歴**

して、ケガをさせてしまったのです。ケガはも

ちろんですが、３歳の子どもとその母親の恐怖

心は相当のものだったようで、店舗内は大騒ぎ、警察もやってきて母親が事情聴取を受けること

になりました。のぞむさんは、事の重大さをわ

かっている素振りもありませんでした。家族は、のぞむさんを連れて近所に買い物や散歩に出か

けられなくなりました。外出は、月に１～２回、車でドライブに出かけ、比較的広々とした郊外

で少し散歩をすることがやっとでした。

　次第に、学校や家庭で断続的に唸るような

大声をあげたり、ドンドンと床を強く踏み鳴ら

したりするようになり、高校生になった頃には、

先生や親に頭突きをしたり腕や肩を強くつねる

行為が目立つようになってきました。大人数の

集団が苦手なのぞむさんは、高校を卒業してか

ら毎日10数人が通ってくる比較的小さな作業所

に通いはじめました。しかし、そこでも大声を

あげ床を強く踏み鳴らしたり、他の利用者へ頭

突きをするなどの他害行為が続いたため、１年

半で退所することになりました。そしてしばら

く在宅生活を送った後、20歳から現在まで新し

くできた生活介護事業所「あじさい」に通うよ

うになりました。

　あじさいでは、のぞむさんの行動に対して、

専門的にどのような対応が可能であるかを、真

剣に職員同士で検討して支援を行っていました。通所中や家庭内では、以前より少しずつ行動が

落ち着いています。のぞむさんの両親は、のぞ

むさんに深い愛情があり、今も、親としてでき

る限りのことをやり続けたいと考えています。

愛情の深さは、のぞむさんの日々の服装や、持

ち物に書かれている名前を見るとわかります。

また、のぞむさんのための週末ドライブは、10

年以上たった今も続けられています。

|  |
| --- |
| サービス等利用計画【要約】　　氏名　高崎のぞむ |
| インテーク（情報の収集・整理） | アセスメント（評価） | プランニング（支援計画） |
| ●26歳男性　自閉症　重度知的障害●身長172センチ 体重105キロ●高等部卒業後、8年間で45キロ体重増加●高血圧(100-160)●14歳の時に近所のコンビニで3歳の子を突き飛ばし怪我をさせている●その後も学校や施設の外出中に幼児の方に向かっていく場面を数回制止している●子どもの泣き声はテレビから聞こえても不機嫌●外出は、施設の送迎と父親がドライブに連れていく以外に外出経験なし●DVDカセットのセット作業や洗濯ばさみの袋詰作業など、単純な工程の仕事が可能●書類やチラシの封入等、手先の巧緻性が求められる作業は手順の学習は可能だが、製品としての完成は難しい●個別化された作業環境だと、一度に20分から日によっては1時間近く継続して作業に取り組むことが可能●休憩時間は他の利用者や職員の動きが見える環境だと落ち着かなくなるため、静養室のソファーで横になっている場合が多い●静養室での活動は特になく、長時間休憩が続くと不穏状態になり、頻繁に静養室を出入りし、床を強く踏みならしはじめる●写真を使った指示で活動がいくつか理解できている●ときどき笑顔を見せ、支援員に近寄ってくることがあるが、しばらくしてから興奮状態になる場合もある●入浴や歯磨き(うがい)が1時間以上たっても終わらないことが多々見られる●2か月前、歯磨きの中止を指示した父親に、コップを投げつけ、目に大けがを負わせる(その後休日のドライブが行けていない。 | 生物的なこと（疾患や障害、病気など） | ①ダイエットと生活習慣病予防②支援付きの外出手段の確保③穏やかに日中活動の時間を過ごす④定期的なショートステイの利用 | ○昼食に満腹感を与える低カロリーメニュー○日中活動に毎日散歩の時間を組み入れる(時間や歩行距離は計画的に増やす)○休憩時間に個別に深呼吸の練習○相談支援事業と行動援護利用の調整(早急のサービス開始に向けて)○行動援護事業所と具体的な支援方法の確認(支援員が複数回同行予定)○1日に作業1種類、自立課題6種類を準備○1日単位の個別のスケジュールを当面固定○スケジュールの伝達方法を調整・スケジュールの提示場所は静養室・3つ程度の活動を写真・カードで提示・静養室の休憩時間の終わりはタイマー○スケジュールの変更時には家庭に連絡・家庭での影響を確認○月に2回(各1泊)生活介護事業所併設のショートステイを活用(要調整)・曜日の固定・他の利用者との調整・宿泊時に必要なものを確認・夜間と早朝のスケジュールを確認・最初の実施日 |
| ●中学生から強度行動障害の状態が続いている重度の知的障害のある自閉症●生活習慣病の対策が必要●健康・衛生に配慮した詳細な援助は行いづらい●とっさに乳幼児を突き飛ばすリスクがある●女性や子どもの甲高い声は嫌い●混乱し興奮すると数時間単位で不穏状態が続き、場合によっては周囲の人がケガをするリスクがある |
| 心理的なこと(不安、葛藤、希望、感情など) |
| ●一人で行う作業や自立課題は20分程度集中して取り組む●とっさに何らかの慣れ親しんだ行動を取ろうとする時に静止すると興奮することが多い(大声・床を踏みならす・頭突き等に表れる)●周囲の人のとっさの動きに反応し興奮することがある●刺激が少ない場所で、一人でいることを好むが、30分以上続くと興奮することがある●笑顔や人との関わりを求める行動がかならずしも快適な状況の表現とは限らない●歯磨きや入浴といった活動の終了が理解きない |
| 社会的なこと（家庭、施設、学校、地域資源など） |
| ●両親は愛情をもって接しているが、今後も長期間この生活を続けることの困難さを感じている●家庭以外での外泊経験は15年以上経験していない●2年を目処に複数箇所のグループホームの設置が検討されている(行動障害対応が可能か不確定) |
| サービス等利用計画【週間計画表】 |
| 利用者名 | 高崎　のぞむ | 障害支援区分 | 区分５ | 相談支援事業者名 | 　相談支援センターかわせみ |
| 障害福祉サービス受給者証番号 | 　\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* | 計画作成担当者 | 　国立　希美 |
| 地域相談支援受給者証番号 | 　\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* | 計画開始日 | 　2017年３月 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日・祝 |
| 6:008:0010:0012:0014:0016:0018:0020:0022:0000:0002:0004:008 | **起床** | **起床** | **起床** | **起床** | **起床** |  |  |
| **朝食** | **朝食** | **朝食** | **朝食** | **朝食** | **起床** | **起床** |
| **事業所の迎え** | **朝食****事業所の迎え** | **朝食****事業所の迎え** | **朝食****事業所の迎え** | **朝食****事業所の迎え** | **朝食** | **朝食** |
|  |  |  |  |  | **昼食** | **昼食** |
| **生活介護****あじさい** | **生活介護****あじさい** | **生活介護****あじさい** | **生活介護****あじさい** | **生活介護****あじさい** |  |  |
| **事業所の送り** | **事業所の送り** | **事業所の送り** | **事業所の送り** | **事業所の送り** | **行動援護****（ドライブ等）****行動援護** |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
| **夕食** | **夕食** | **夕食** | **夕食** | **夕食** | **夕食** | **夕食** |
| **就寝** | **就寝** | **就寝** | **就寝** | **就寝** | **就寝** | **就寝** |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 主な日中生活上の活動 | 週単位以外のサービス |
| 父親の怪我で外出（ドライブ）が出来なくなって以来、外出機会が極端に少ない。生活介護への通所は安定している。夕食前の空き時間に自立課題を実施する。 | 2ヶ月に1回、精神科医に通院する。通院は保護者の送迎による。月に2回、生活介護事業所併設のショートステイを利用する。 |

|  |  |
| --- | --- |
| サービス提供によって実現する生活の全体像 | 日中活動には安定した通所が可能であるが、他害等が時折見られており、１日を穏やかに過ごせるようになるにはまだ課題がある。生活介護での安定した日中活動への取り組みを図るとともに、週末の行動援護、月２回のショートステイの利用を進めることで、家庭と生活介護以外の場への生活の広がりが期待できる。家族のレスパイトとしても重要であり、本人も含めた家庭全体の安定を図る。 |
| 個別支援計画 |
| 利用者名 | 高崎　のぞむ | 障害支援区分 | 区分５ | 相談支援事業者名 | 　生活介護事業所　あじさい |
| 利用開始日 | 　2011年10月10日 | 計画作成担当者 | 　赤城　あきら |
| モニタリング実施日 | 　2017年２月14日 | 計画開始日 | 　2017年3月1日 |

|  |  |
| --- | --- |
| 利用者及びその家族の生活に対する意向（希望する生活） | ・自傷や他害が少なくなって欲しい（穏やかに生活を送ってほしい）。・体重が気になるので、ダイエットをして痩せて欲しい。・外出ができていないので外出させてあげたい。できれば、外で色々なことを体験させてあげたい。 |
| 総合的な援助方針 | のぞむさんの障害特性や現在有している能力・スキルを活用した支援を提供し、①落ち着ける（安心できる）生活環境の中、②自立的に活動を過ごせるよう支援を行う。 |
|  | 長期目標 | 　▢　安心でき自立的に活動できるよう支援を行い、併せて自傷や他害といった行動の生起数を半分にする。　▢　ケアホームでの生活を視野に入れ、より自立的に過ごせるよう支援を行う（Ex．歯磨き、トイレ、余暇等、生活内での様々な場面）。 |
| 短期目標 | ■　作業を自立的に実施できるよう、（環境調整を含め）支援を行う。目標としては、15分間継続して作業に取り組めるよう支援する。　　　※　作業に関しては２週間に１回のミーティングを行い、実施状況を確認すると共に、必要な支援方法を検討し準備、実践を行う（計４回の実施を予定）。※　普段の引き継ぎ、情報共有の手段として「作業記録・引継ぎ帳」を使用する。　■　食事制限＋散歩（運動）を実施し、半年間で５～10㎏の減量を目標とする。　 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ニーズ | 支援目標 | サービス内容 | 頻度・時間 | 提供先・担当 |
| ダイエットと生活習慣病予防（医学的ニーズ） | 体重の減量（ダイエット）を目標とし、併せて生活習慣病の予防を行う | 1. 昼食に、満足感を与える低カロリーメニューの提供
2. 日中活動に散歩の時間を入れる

（時間や歩行距離は、計画的に増やす）1. 休憩時間に、個別に深呼吸の練習を行う
 | 昼食（毎日）13:00～13:45（毎日）休憩時間（休憩時毎） | ●生活介護事業所・栄養士・調理師・看護師・支援員（主に②③） |
| 穏やかに日中活動の時間を過ごす（家族のニーズ）（関係者のニーズ） | 穏やかに生活が過ごせるよう、本人に適した環境調整や日中活動を提供する | 1. 作業、及び自立課題の提供
2. 個別のスケジュールの提示
3. スケジュール伝達方法の調整

・1回の提示数は3枚程度・スケジュール変更時は、保護者に連絡を行う | 毎日毎日適時 | ●生活介護事業所・支援員・（保護者） |